



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
ツムぐ学生

第62号

2017年8月26日

編集 田中麻稀

(名城大学4年)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.41

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

児童も学生も真剣！最終日②



夏のわくわく算数教室最終日の午後は、児童18人とSP12人が参加しました。最も参加者が多かった24日午後のような賑やかさとは雰囲気は少し違い、児童もそれを感じているようです。どのテーブルでも、SPと児童がもくもくと真剣に取り組む姿が印象的でした。そして、見てまわっていると、どの児童も自分で選んだプリントやSPお手製の問題を真剣に解いていることに気がきました。宿題ではなく、自分でやりたい問題を一生懸命考えているのです。わくわく算数教室に何度も参加していると、この光景に慣れてしまいがちですが、児童のこの意欲は本当に素晴らしいものだと思います。



こんな風に身を乗り出して一生懸命になっている児童もいました。これだけ真剣に取り組んでくれる児童のために、SPも褒めたりいろいろな工夫をしたりして、児童が「勉強ってわくわくするなあ」と感じる時間を作っていました。夏休みもそろそろ終わりますが、2学期からも楽しく勉強してほしいなと心から思います。そして、児童もSPもお互いに成長して、冬休みにまた一緒に勉強したいです。

担当児童が欠席になって、しまったSP4年生の谷地さん。

「また冬のわくわく算数教室で頑張ります！」と前向きになるだけでなく、集めた教科書の整理や児童の声かけなどを積極的に行ってくれていました。リーダーとして、いつも率先してまとめてくれてありがとう。

夏のわくわく算数教室も無事終わろうとしています。この活動を支えて下さった全ての先生方、シニアSPの先輩方、本当にありがとうございました。

